

科目区分	専門分野	授業科目	臨床看護総論Ⅰ（主要症状に必要な治療・処置を含む）
講師名	小林 真弓	開講年次	1 年次 第 2 学期
単位数（時間）	1 単位（ 30 時間）		
授業概要 * 講師からのメッセージ	症状の起こるメカニズムを振り返りながら症状に対する看護を話しあっていきます。 基本的な根拠に基づく看護手順、技術提供前後の観察、判断事項を学び、心理面への配慮についても学び、対象一人一人に応じた看護援助が行えるようになって欲しいと思っています。		
目的：健康障害を持つ対象を理解し、対象のおかれている状態に応じた看護の役割と援助の方法について基礎的な能力を養う。			
目標： 1. 主要症状別看護に必要な解剖生理学や病理学で学んだ知識を統合し、根拠を踏まえ看護を理解する。			
2. 主要症状が身体的側面だけでなく、精神・社会的側面に影響があることを理解する。			
回	授 業 内 容		
1【講義】	1. 安楽に関連する症状を示す対象者への看護 1) 発熱・低体温などの体温調整機能に関する症状を示す対象の看護		
2【講義】	2) 痛み症状を示す対象の看護 痛みのメカニズム、痛みのアセスメント、痛みのある患者の援助		
3【講義】	3) 不眠症状を示す対象の看護 睡眠のメカニズム、睡眠障害に関連する代表的な症状と発症のメカニズム 身体ケアを通じてもたらされる安楽：体位保持（ポジショニング）、リラクゼーション法		
4【演習】	安楽に関連する症状（体温調節・疼痛）への援助 電法の技術（冷電法・温電法）＜演習＞		
5【講義】	2. 循環に関連する症状を示す対象者への看護 循環障害に関連する症状のメカニズム 循環障害に関連する看護上のニーズ判別のためのアセスメント 循環障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助 血液循環を促進する援助・末梢循環促進ケア、心臓の負荷を軽減する援助		
6【講義】	3. 呼吸に関連する症状を示す対象者への看護 呼吸機能障害に関連する症状のメカニズム 呼吸機能障害に関連する看護上のニーズ判別のためのアセスメント 呼吸機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助（排痰ケア、吸入）		
7【講義】	呼吸機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助（酸素療法）		
8【演習】	酸素療法を受ける患者の看護 ＜演習＞ 中央配管方式による方法と酸素ボンベによる方法 酸素投与器具とその特徴（鼻カニューレ、簡易酸素マスク、ベンチュリーマスク、リザーバーバック付き高濃度酸素マスク）		

9・10 【演習】	呼吸に関連する症状への援助（排痰ケア） 体位ドレナージ ＜演習＞ 咳嗽介助（徒手の咳嗽介助）・ハフティング 吸入加湿法（ネブライザー） ＜演習＞
11【講義】	口腔・鼻腔内吸引法
12・13 【演習】	口腔・鼻腔内吸引法
14【講義】	気管内吸引法
15 【技術試験】 (45分)	口腔・鼻腔内吸引
15 【筆記試験】 (45分)	終了試験（45分）
授業方法	講義・演習
評価方法	技術試験（50％）筆記試験（50％）
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ ＜参考図書＞ 学研メディカル秀潤社：看護過程に沿った対症看護 医学書院：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術
備考	